

第 2 章 駐輪環境

第 2 章 駐輪環境

自転車利用を促進するためには自転車駐車場の整備が不可欠です。ここでは、放置自転車対策や交通結節点における自転車駐車場の整備についてその方針を示します。

2-1 「放置自転車ゼロ作戦」

(1) これまでの取組状況

①実施方針

駐輪需要に見合った自転車駐車場の整備及び安心して利用しやすい施設の管理・運営を行います。

②実施内容

(i) 駐輪需要に応じた自転車駐車場の確保

放置自転車の解消にあたっては、駐輪需要に応じた自転車駐車場を適切な場所に十分確保することが前提です。駐輪需要に応じた自転車駐車場の確保のため、市内中心部においては民間参入による新たな自転車駐車場の整備を進めました。

(ii) 自転車駐車場の有料化（平成 24 年 6 月 1 日開始）

市内中心部においては民間事業者の参入による自転車駐車場の確保に向けて、受益者負担の観点から有料化を行いました。市内中心部以外は、自転車駐車場の整備状況や自転車利用者のニーズ等を十分に踏まえて検討を行います。

▼市営自転車駐車場の料金体系（一時利用料金）

自転車	原動機付自転車 (125cc 以下)	自動二輪車 (125cc 超)
100 円/12h	100 円/6h	100/2h

▼（参考）民営自転車駐車場の料金体系（一時利用料金） 平成 29 年 10 月時点

エリア	自転車	原動機付自転車 (125cc 以下)	自動二輪車 (125cc 超)
並木坂エリア	100 円/1 回 100 円/8 時間	150 円/1 回 100 円/4 時間	—
上通りエリア	100 円/8 時間	—	—
手取・安政町 エリア	100 円/1 回 100 円/6 時間	200 円/1 回 100 円/6 時間	—
銀座通りエリア	100 円/8 時間	100 円/4 時間	100 円/1 時間
新市街エリア	100 円/6 時間 100 円/8 時間	100 円/4 時間	—

・短時間利用無料制度

環境への負荷が少ない自転車の利用促進や、中心市街地の活性化、さらには短時間であっても路上駐輪を防止する観点から、入場から 2 時間以内の自転車及び原動機付自転車の駐輪は無料としています。

なお、この 2 時間無料制度は、民間自転車駐車場でも実施されています。

・定期利用料金

定期的に自転車駐車場を利用する方の利便性を確保する観点から、1 ヶ月と 3 ヶ月の定期利用形態を一部の自転車駐車場（※）で導入しています。

▼市営自転車駐車場の料金体系（定期利用料金）

区分	期間	
	1 ヶ月	3 ヶ月
自転車	2,000 円（高校生以下及び障がい者にあつては、1,000 円）	5,700 円（高校生以下及び障がい者にあつては、2,850 円）
原動機付 自転車	4,000 円（障がい者にあつては、2,000 円）	11,400 円（障がい者にあつては、5,700 円）

※熊本市辛島公園地下自転車駐車場及び熊本市上通自転車駐車場のみ導入

▼（参考）民営自転車駐車場の料金体系（定期利用料金） 平成 29 年 10 月時点

区分 \ 期間	3ヶ月	箇所
自転車	5,000円	くまもとまちなか駐輪場草葉第2 くまもとまちなか駐輪場新市街第1 くまもとまちなか駐輪場新市街第2
原動機付自転車	11,000円	くまもとまちなか駐輪場草葉第1 くまもとまちなか駐輪場シャワー通り

③整備実績

・市内中心部自転車駐車場の整備実績

市内中心部においては、自転車駐車場の収容台数よりも乗入れ台数が多かったため、エリア別に駐輪需要を整理し、それに応じた自転車駐輪場を確保しました。

▼自転車駐輪場整備台数（平成 28 年 3 月）

	自転車	原動機付自転車 自動二輪車	箇所数
市営	1,720 台	682 台	5 箇所
民営	3,439 台	689 台	13 箇所
合計	5,159 台	1,371 台	18 箇所

- ・ 24 時間営業（辛島公園地下自転車駐輪場を除く）や照明、防犯カメラ等設備の充実や管理人の配置など、可能な限り利用者のニーズに対して施設の充実とサービスの向上を図りました。
- ・ 空き状況（満空情報）をパソコンやスマートフォン等を使用し、インターネットで即時に確認できるサービスを提供しています。
- ・ 自転車駐輪場内の防犯対策として、2重ロック啓発チラシの掲示などを行っています。



▲熊本市駐輪場マップ

(2) 課題と見直しの方向性

市内中心部の市営自転車駐車場においては、施設の立地特性等により利用状況に偏りがあるため、立地特性、施設特性、民間事業とのバランス等を踏まえた利用料金の検討を行っていく必要があります。

また、市内中心部以外の市営自転車駐車場の有料化については、整備状況や自転車利用者のニーズ等を把握し、検討を行っていく必要があります。

▼市営自転車駐車場（市内中心部）の利用状況（H28.10.7（金）調査結果）

	施設名	駐車台数	収容台数	利用率
1	熊本市上通自転車駐車場	526	650	80.9%
2	熊本市庁舎駐輪場（庁舎北側地下）	49	50	98.0%
3	熊本市庁舎北側自転車駐車場	206	210	98.1%
4	熊本市自転車駐車場（庁舎南側）	323	340	95.0%
5	熊本市辛島公園地下自転車駐車場	200	470	42.6%
合計（平均）		1,304	1,720	75.8%

(3) 今後の取組

①実施方針

自転車利用を促進するために駐輪需要に見合った整備及び安心して利用しやすい施設の管理・運営を行います。

②主な見直し内容

自転車駐車場の料金体系の検討を行います。

③実施内容

- (i) 市内中心部の自転車駐車場は施設の立地特性等により利用状況に偏りがあるため、立地特性、施設特性、民間事業者とのバランス等を踏まえた料金体系の検討を行います。
- (ii) 市内中心部以外の自転車駐車場については、立地特性や利用状況、コスト等を勘案すると共に、受益者負担の観点から、有料化について検討していきます。
- (iii) 引き続き、防犯対策として照明灯や防犯カメラの施設整備を行うことや、2重ロックの啓発などのソフト面でも充実を図り、安心して利用しやすい環境づくりを目指していきます。

2-2 交通結節点における自転車駐車場整備

(1) これまでの取組状況

①実施方針

- (i) サイクル&ライドの促進は、自転車駐車場の整備だけではその誘導が難しく、乗り継ぐ公共交通の運行頻度や定時性により、その需要が大きく変化することから、本市で検討を進めているバス路線網再編などの公共交通に関する計画や、平成 24 年度に実施したパーソントリップ調査と整合を図りながら進めます。
- (ii) 既に、サイクル&ライドの需要が高く、中でも、上熊本駅周辺、川尻駅、富合駅では、自転車駐車場の不足等により放置自転車による通行障害や駅前広場の機能低下などの問題が生じているため、早急に実態調査を行い対応を検討するとともに、関係法令や本市の条例に基づき、用地等に関する鉄道事業者等との協力体制の構築に努めます。

②実施内容

放置自転車等により駐輪台数が不足しているところや新たに開業する鉄道駅など、サイクル&ライドの需要が高い鉄道駅における自転車駐車場の整備を実施しました。

③整備実績及び利用状況

現行計画策定後に整備した自転車駐車場は下表のとおりです。

駐輪場名	供用 開始日	土地 所有者	管理者	面積 (㎡)	整備内容 (台)		駐輪台数 (台) ※	
					自転車	原付	自転車	原付
富合駅自転車駐車場	H26.4	J R	熊本市	569	163	25	83	22
西熊本駅自転車駐車場	H28.3	J R	熊本市	767	407	35	384	25
川尻駅自転車駐車場	H29.6	J R	熊本市	775	422	34	165	23
上熊本駅自転車駐車場	H30.3	J R	熊本市	1,880	800	50	—	—

※平成 29 年 10 月時点の駐輪台数

▼自転車駐車場の整備状況



(富合駅)



(西熊本駅)

(2) 課題と見直しの方向性

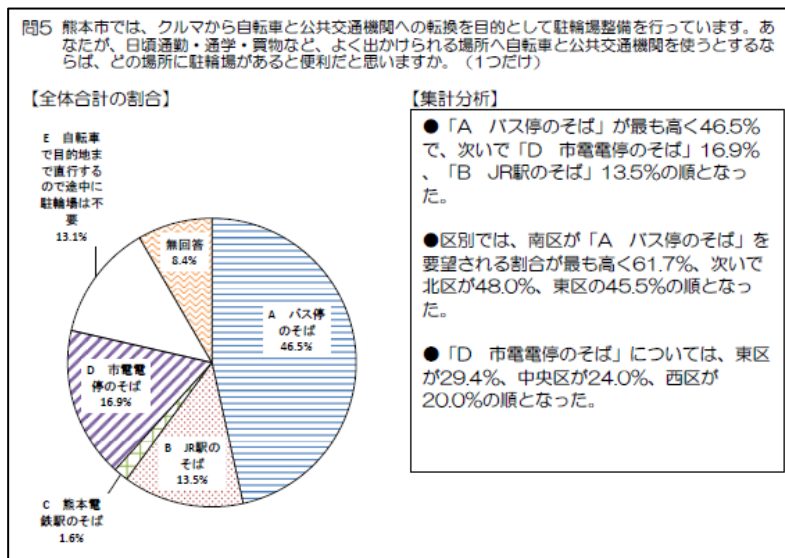
①バス路線網再編など公共交通に関する計画と連携した自転車駐車場の整備

これまででは、主に鉄道駅周辺における自転車駐車場の整備を行ってきたが、今後は「コンパクトシティ+ネットワーク」のまちづくりに向け、バス路線網再編など公共交通に関する計画と連携した自転車駐車場の整備の検討が必要です。

②市民の駐輪ニーズへの対応

平成 27 年 8 月実施の市政アンケートにて、バス停周辺や鉄道駅への自転車駐車場整備ニーズが最も高く、市民へのニーズに対応する必要があります。

⇒バス停周辺や鉄道駅を含む乗換拠点等における自転車駐車場の整備を検討



▲平成 27 年度第 1 回市政アンケート調査結果報告書より一部抜粋

(3) 今後の取組

①実施方針

- (i) サイクル&ライドの需要の高い自転車駐車場のうち、川尻駅、富合駅、西熊本駅、上熊本駅においては、既に整備が完了しているが、未整備である熊本駅については、駅前広場の整備と合わせて引き続き整備を進めていきます。
 - (ii) サイクル&ライドのさらなる促進に向け、公共交通に関する計画等と整合を図りながら、乗換拠点等における自転車駐車場の整備に取り組んでいきます。
- また、既存の自転車駐車場においては、バス事業者及び鉄道事業者等に対して放置自転車対策の協力依頼を行い、自転車駐車場のスペース確保に努めます。

②主な見直し内容

バス停や鉄道駅の乗換拠点における自転車駐車場の整備を検討します。

③実施内容

(i) サイクル&ライドの需要の高い鉄道駅での自転車駐車場整備

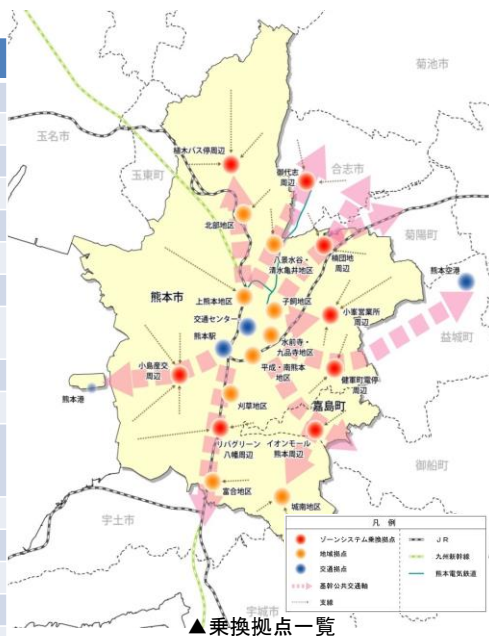
整備箇所	整備年度	整備予定台数
熊本駅	平成 31 年度	自転車 1,184 台、原付 216 台

(ii) 乗換拠点における自転車駐車場整備

乗換拠点の整備の際に、自転車駐車場が整備されていない箇所や既に駐輪需要が高い自転車駐車場については、実際の駐輪状況や今後の需要予測等を行いながら、拠点毎に整備を検討します。

(iii) 整備検討箇所

拠点名	方面	拠点箇所
ゾーンシステム乗換拠点	楠・光の森方面	① 楠団地バス停
	健軍・益城方面	② 健軍電停
	植木・北部方面	③ 植木バス停
	小峯・長嶺方面	④ 小峯営業所バス停
	嘉島・城南方面	⑤ イオンモール熊本バス停
	川尻・富合方面	⑥ リバグリーン八幡バス停
	小島・城山方面	⑦ 小島産交バス停
鉄道駅乗換拠点	植木・北部 合志・堀川	⑧ 上熊本駅
	植木・北部方面	⑨ 植木駅
	合志・堀川方面	⑩ 電鉄堀川駅
	楠・光の森 小峯・長嶺 健軍・益城	⑪ 新水前寺駅
	楠・光の森方面	⑫ 竜田口駅
		⑬ 武蔵塚駅
		⑭ 光の森駅
	川尻・富合方面	⑮ 川尻駅
		⑯ 西熊本駅



出典：熊本市地域公共交通網形成計画

(参考) 乗換拠点における自転車の駐輪状況

拠点名	拠点箇所	自転車駐車場の有無	収容台数 ※3	駐輪台数※1	
					内、放置 自転車数
ゾーンシステム乗換拠点	楠団地バス停	○	17	3	0
	健軍電停	○	1,058	477	3
	植木バス停	×	—	—	—
	小峯営業所バス停	○	55	66	19
	イオンモール熊本バス停	○	(280)	38	0
	リバグリーン八幡バス停	○	10	5	0
	小島産交バス停	○	20	25	10
鉄道駅乗換拠点	上熊本駅 ※4	○	522	402	8
	植木駅	○	(170)	174	30
	電鉄堀川駅	○	42	41	2
	新水前寺駅	○	750	604	0
	竜田口駅	○	(180)	193	0
	武蔵塚駅	○	1,000	424	0
	光の森駅 (熊本市所管分)	○	170	93	0
	川尻駅 ※2	○	422	165	0
	西熊本駅	○	407	332	0

※1 平成 28 年 10 月午後 3 時時点の台数

※2 川尻駅は平成 29 年 6 月に整備

※3 収容台数 () は推計

※4 上熊本駅は仮設駐輪場の収容台数を示す

【参考】熊本市自転車の安全利用及び駐車対策等に関する条例

(市長の責務)

第 3 条 市長は、この条例の目的を達成するため、自転車の安全利用の促進、公共の場所における自転車の放置防止及び駐車対策等に関し、必要な施策の実施に努めなければならない。

2 市長は、自転車の安全利用の促進、公共の場所における自転車の放置防止及び駐車対策等に関する施策を実施するため必要と認めるときは、警察、道路管理者(道路法(昭和 27 年法律第 180 号)に規定する道路管理者をいう。)その他関係機関と協議するとともに、協力を要請することができる。

(鉄道事業者等の責務)

第 8 条 鉄道事業者及び一般乗合旅客自動車運送事業者(以下「鉄道事業者等」という。)は、旅客の利便に供するため、駅又は停留所付近に自転車駐車を設置するよう努めなければならない。

2 鉄道事業者等は、市長が駅又は停留所付近に自転車駐車を設置しようとするときは、その用地を提供する等により、第 3 条第 1 項の規定に基づき市長が実施する施策に協力しなければならない。